

## Structured Assessment of FEasibility (SAFE) Version1.1 実現可能性の構造化評価 (SAFE) バージョン 1.1(日本語)

SAFE は、介入が英国国民保健サービス (NHS) の精神保健サービスで実装できる範囲を評価します。

この尺度の参考文献です:

Bird V, Le Boutillier C, Leamy M, Williams J, Bradstreet S, Slade M (2014) Evaluating the feasibility of complex interventions in mental health services: standardised measure and reporting guidelines, British Journal of Psychiatry, 204, 316-321.

SAFE バージョン 1.1 (当該文書) および SAFE バージョン 1.1 評価マニュアルは、下記からダウンロードすることができます

<http://www.researchintorecovery.com/safe>

この尺度は、障害になること(Block:8 項目)と可能にすること(Enabler:8 項目)の 2 つの下位スケールで構成されています。各項目について 1 つの回答に○を付けてください。

---

### 障害になること(Block)の下位スケール

これらの項目は実装の障害となるものです。

#### 1. スタッフはその介入を実施するためのトレーニングを必要としますか

はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入には 4 時間以上のトレーニングが必要です		
部分的に:	その介入には最大 4 時間のトレーニングが必要です		
いいえ:	その介入に特定のトレーニングは必要ありません		
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません		

#### 2. その介入は複雑ですか

はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入は 3 つより多くの別個の構成要素で構成されています		
部分的に:	その介入は 2 つまたは 3 つの別個の構成要素を含みます		
いいえ:	その介入には 1 つの構成要素しかありません		
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません		

### 3. その介入には時間がかかりますか

はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入は週に 2 時間以上の作業を必要とします(クライアント 1 人あたり)		
部分的に:	その介入は週に 30 分以上 2 時間未満の作業を必要とします(クライアント 1 人あたり)		
いいえ:	その介入は週に 30 分未満の作業を必要とします(クライアント 1 人あたり)		
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません		

### 4. その介入には継続的なサポートやスーパービジョンが含まれていますか／必要ですか

はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入には追加の週 1 回のスーパービジョンまたはサポートセッションが必要です		
部分的に:	その介入には追加の月1回のスーパービジョンまたはサポートセッションが必要です		
いいえ:	その介入には追加のサポートセッションまたはスーパービジョンは必要ありません		
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません		

### 5. その介入には追加の人的資源が必要ですか

はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入を提供するチーム全体を必要とするか、標準的な専門多職種チームに属さない専門家を必要とします		
部分的に:	複数のスタッフがその介入を提供するのに関与します		
いいえ:	その介入は 1 人のスタッフで提供することができます		
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません		

### 6. その介入には追加の物的資源が必要ですか

はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入は、スタッフが普段利用できないかなり多くの資源または特別な用具を必要とします(特別室、楽器、画材など)		
部分的に:	その介入は追加の、しかしすぐに利用できる資源を必要とします(コンピュータ、ワークブックなど)		
いいえ:	その介入は、スタッフが普段利用できない追加の資源を必要としません		
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません		

## 7. その介入には費用がかかりますか

はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入には費用がかかりすぎるため、追加の資金がなければ提供できない可能性があります		
部分的に:	その介入により、他の費用の優先順位を下げる必要がある可能性が高いです		
いいえ:	その介入の費用は低いです		
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません		

## 8. その介入に関連する既知の重篤または有害な事象がありますか

はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入に関連する既知の重篤で有害な事象があります		
部分的に:	その介入に関連する既知の有害な事象があります		
いいえ:	その介入に関連する既知の重篤または有害な事象はありません		
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません		

---

## 可能にすること(Enabler)の下位スケール

これらの項目は実装を可能にするものです。

## 9. その介入は対象集団に適用可能ですか(地域の精神保健医療チームを使用する成人など)

はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入は対象集団向けに設計されています		
部分的に:	その介入は一般的なメンタルヘルス集団のために設計されているか、または対象集団に適用できるよう変更することができます		
いいえ:	その介入は対象集団には適用できません		
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません		

## 10. その介入はマニュアル化されていますか

はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入の全ての構成要素はマニュアル化されています		
部分的に:	その介入の一部の構成要素がマニュアル化されています		
いいえ:	その介入はマニュアル化されていません		
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません		

### 11. その介入は柔軟ですか(つまり文脈や状況に合わせて調整できますか)

はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入は柔軟で文脈や状況に合わせて調整できます		
部分的に:	その介入の要素は文脈や状況に合わせて調整できます		
いいえ:	その介入は特定の文脈に合わせて調整できません		
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません		

### 12. その介入は効果がありそうですか(エビデンスに基づいていて、ポジティブな結果を生み出すことが期待されますか)

はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入の有効性に関する実証されたエビデンスベースがあります(臨床試験など)		
部分的に:	その介入の有効性に関する何らかのエビデンスがあります(事例研究はあるが臨床試験はない)		
いいえ:	その介入のエビデンスベースはありません		
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません		

### 13. その介入はコスト削減になりますか

はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入によってコストが削減されることが実証されています		
部分的に:	その介入のコストは中くらいであることが実証されています		
いいえ:	その介入は、より多くのコストが発生します		
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません		

### 14. その介入が意図する目標は、NHS の優先目標と一致していますか

はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入の主な目的は評価された NHS の結果と一致しています。例:メンタルヘルスとウェルビーイングの改善、臨床的また個人的回復の支援、良好な身体的健康の促進、サービス満足度の改善、スティグマと差別の削減 [No Health Without Mental Health, 2011, Department of Health より引用]		
部分的に:	その介入の副次的な目的は現在評価されている結果と一致しています		
いいえ:	その介入の主要および副次的な目的は NHS の現在評価された結果と一致しません		
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません		

## 15. その介入は試験的に実施できますか

	はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入は少数のスタッフ及び少数のサービス利用者のみで試験的に実施できます			
部分的に:	その介入は少数のスタッフ <u>または</u> 少数のサービス利用者で試験的に実施できます			
いいえ:	その介入は試験的に行うことはできません			
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません			

## 16. その介入は可逆的ですか

	はい	部分的に	いいえ	評価不能
はい:	その介入は有害または望ましくない影響無く中止することが可能です			
部分的に:	その介入を中止することは可能ですが、有害または望ましくない影響が生じる可能性があります			
いいえ:	その介入は重篤で有害な影響無しに中止することができません			
評価不能:	項目を評価するのに十分な情報が提供されていません			

---

## スコアリング

阻害要因や促進要因の重要性は状況によって異なるため、総合的な要約スコアを使用しないことをおすすめします。SAFE 評価の使用に関する詳細な説明については、SAFE の論文(1 ページに記載されている参考文献)を参照してください。

---

## 訳者による注釈

\* SAFE was developed by Victoria Bird, Clair Le Boutillier, Mike Slade and colleagues at King's College London. Further information from [researchintorecovery.com/safe](https://researchintorecovery.com/safe). This translation was published in 2023 by Aya Yamamoto([kuwaji@sgu.ac.jp](mailto:kuwaji@sgu.ac.jp)).

SAFE は、キングスカレッジロンドンの Victoria Bird, Clair Le Boutillier, Mike Slade とその同僚によって開発されました。詳細については [researchintorecovery.com/safe](https://researchintorecovery.com/safe) を参照してください。この翻訳は、山本彩([kuwaji@sgu.ac.jp](mailto:kuwaji@sgu.ac.jp))によって 2023 年に公開されました。

\* Distributed using Creative Commons License: CC BY-NC-ND 4.0.

クリエイティブ・コモンズ・ライセンス:CC BY-NC-ND 4.0 を使用して配布されています